第６号様式

**身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）**

総括表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | | | 年　　月　　日生（　　　）歳 | | 男・女 |
| 住　所　船橋市 | | | | | |
| ① 障害名（部位を明記） | | | | | |
| ② 原因となった疾病・外傷名 | | | | 交通　労災　その他の事故　戦傷　戦災  自然災害　疾病　先天性　その他（ 　　　）  ※上記のいずれかを必ず選択してください | |
| ③ 疾病・外傷発生年月日　　　　　　年　　月　　日・場所 | | | | | |
| ④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）  障害固定又は障害確定（推定）　　　年　　月　　日  ※診断日以前の日付をご記入ください | | | | | |
| ⑤ 総合所見  〔将来再認定：　要 ・ 不要 〕　要の場合  再認定の理由（重度化・軽度化）  再認定の時期（　　　年　　月）  ※診断日から１年以上５年以内の期間でご記入ください | | | | | |
| ⑥ その他参考となる合併症状 | | | | | |
| 上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。  　　　　年　　月　　日 | | | | | |
|  | | 病院又は診療所の名称  所　 　 　在　　　 地  担当診療科名　　 　科　医師氏名 | | | |
| 身体障害者福祉法第15条第３項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕  障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に  　　　　　　　　 ・該当する　（　　 級相当）  　　　　　　　　 ・該当しない | | | | | |
| 注 | １　障害名には、現在起こっている障害、例えば両耳ろう、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、先天性難聴、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。  ２　「障害の状態及び所見を記載した書面」（別様式）を添付してください。  ３　歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」（別様式）を添付してください。  ４　障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて問い合わせする場合があります。  身体障害者福祉法第１５条第１項に規定する指定医師の診断を受けてください | | | | |

|  |
| --- |
| 呼吸器の機能障害の状態及び所見 |
| （該当するものを○で囲むこと。）  １　身体計測  身長 ㎝ 体重 ㎏  ２　活動能力の程度  ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。  イ　平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。  ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な  　道を自分のペースで歩いている時、息切れのため立ち止まることがある。  エ　平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。  オ　息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れ  　がある。  ３　胸部エックス線写真所見（　　　　年　　月　　日）  ア　胸膜着 （無・軽度・中等度・高度）  イ　気化 （無・軽度・中等度・高度）  ウ　線維化 （無・軽度・中等度・高度）  エ　不透明肺 （無・軽度・中等度・高度）  オ　胸郭変形 （無・軽度・中等度・高度）  カ　心・縦隔の変形 （無・軽度・中等度・高度）  説明: 3346  ４　換気機能（　　　　年　　月　　日）  ア　予測肺活量　　 　 [・ [ [L　（実測肺活量　　　　[・ [ [L）  イ　１秒量 　　　 [・ [ [L　（実測努力肺活量　　[・ [ [L）  ウ　予測肺活量１秒率[ [・[ [％（＝　　×100）  （アについては、次の予測式を使用して算出すること。） |

|  |
| --- |
| 肺活量予測式（L）  男性　0.045×身長（cm）－0.023×年齢（歳）－2.258  女性　0.032×身長（cm）－0.018×年齢（歳）－1.178  (予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症状  には使用しないこと）  ５　動脈血ガス（　　　年　　月　　日）  ア　Ｏ２分圧【室内気における実測値】 ：　　　　　　　 Torr  ※室内気下における実測値が測定できない場合は、予測値を記載するとともに、  酸素吸入中での実測値を記載すること。  　　　　【酸素吸入中での実測値】　　　　　　　 Torr  　　　　　　　　　　酸素投与量　　　　　　　　Ｌ／分  　　　　　　　　　　酸素投与の方法  イ　ＣＯ２分圧 ：[ [ [・[Torr  ウ　ｐＨ ：[・[ [  エ　採血より分析までに時間を要した場合　　[ [時間[ [分  オ　耳血を用いた場合：[]    ６　その他の臨床所見 |